

画像ファイルを記事中の任意の場所へ表示（挿入）する

2017/09/03

広島県作業療法士会 広報部 HP 担当

このマニュアルでは、画像のように、文章中にイメージファイル（画像ファイル）を挿入、表示させる技を確認できます。画像を挿入可能なのは原則として自由記載欄のみになります。

大きく 2 つのステップがあります。

- 1 画像のアップロード
- 2 アップロードした画像の表示

一部、内容が呪文（HTML）に触れますが、コピペで対応でき、理解は不要です。
手順として覚えるのが簡単です。（※一応より理解されたい方むけに、技術的なことも後ろの方に記載しています。）

質問や、手順通りやったのにうまくいかない場合には、下記連絡先までご連絡ください。

不具合等連絡先：<mailto:hotweb.help@gmail.com>

1 画像のアップロード

県士会ニュースの場合で説明しますが、その他のどのような投稿（研修会情報など）でも方法はまったく同じです。

まず、表示したい画像を準備します。

著作権フリーのネット上にある画像などを掲載したい場合でも、いったんパソコン上に保存する必要がありますので、使用されているパソコン上にダウンロードしておいて下さい。

例えば今回は、著作権フリーの有名イラスト素材サイトである「いらすとや」

（http://www.irasutoya.com/2013/04/blog-post_8381.html）から拝借します。

右クリックで、パソコン上の任意の場所に「名前をつけて保存」します。



パソコン上に保存できたら、画像を掲載したい記事の投稿画面を開きます。
まず、自由掲載欄の上部にある、「メディアを追加」をクリックします。



自由掲載欄

(※ もし表示されていない場合、あるいは何らかのエラーが表示される場合は、別途設定を行いますので、不具合連絡先までメールでご連絡下さい。)

「ファイルをアップロード」をクリックします。



表示したい画像をアップロードします。ブラウザ上に画像をドラッグアンドドロップするか、エクスプローラー上で「ファイルを選択」して、アップロードします。





アップロードが完了したら、URL の欄の『[http://Hiroshima-ota.kir.jp/~](http://hiroshima-ota.kir.jp/~)』という文字列をコピーします。



以上が第一段階です。

2 アップロードした画像の表示

まず、文章のほうを先にあらかじめ入力しておくことで作業が行いやすいです。

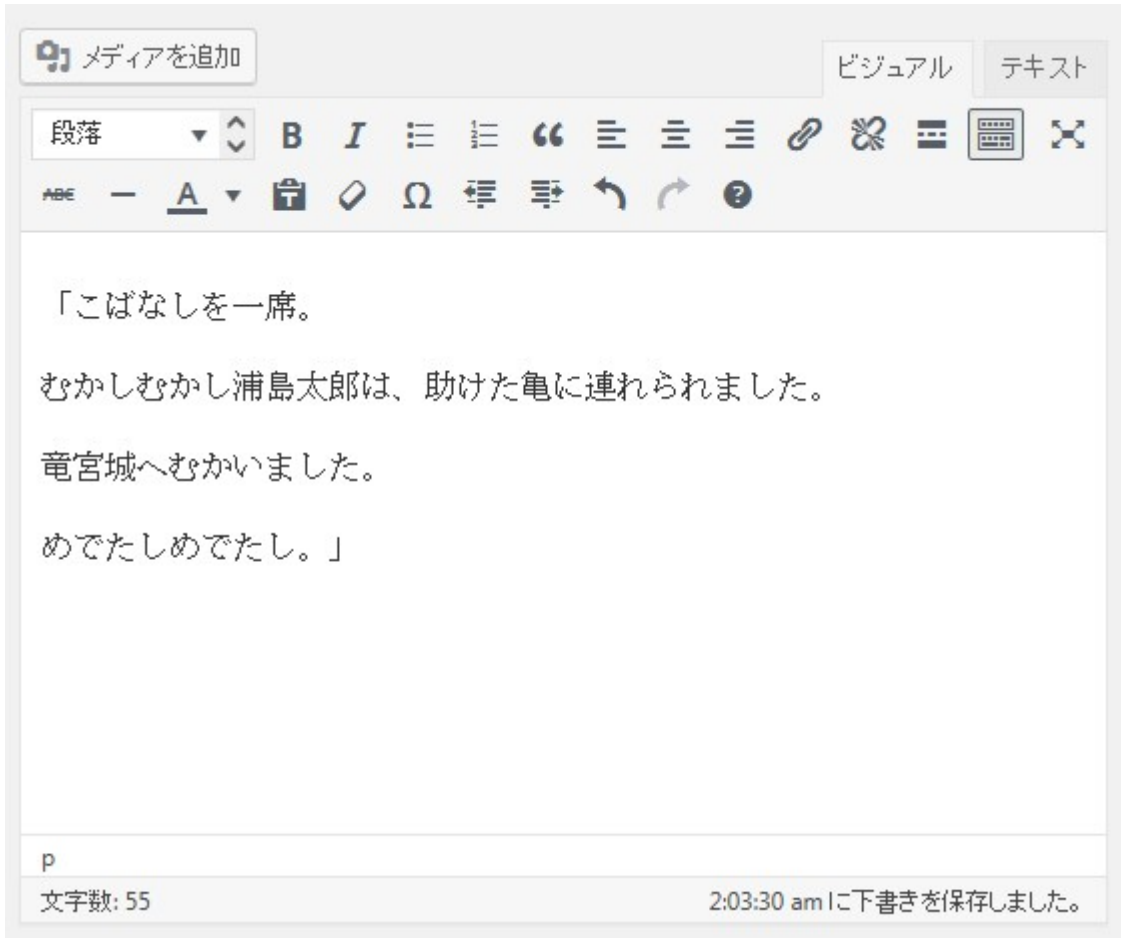
今回は例のため、以下のような文書を用意しました。

「こばなしを一席。

むかしむかし浦島太郎は、助けた亀に連れられました。

竜宮城へむかいました。

めでたしめでたし。」



The screenshot shows a rich text editor interface. At the top left, there is a button labeled "メディアを追加" (Add Media). To its right are two tabs: "ビジュアル" (Visual) and "テキスト" (Text). Below the tabs is a toolbar with various icons for text formatting, including bold (B), italic (I), bulleted list, numbered list, quote, indent, outdent, link, unlink, table, and table of contents. The main editing area contains the text: 「こばなしを一席。
むかしむかし浦島太郎は、助けた亀に連れられました。
竜宮城へむかいました。
めでたしめでたし。」. At the bottom left, there is a status bar showing "P" and "文字数: 55". At the bottom right, there is a message: "2:03:30 am に下書きを保存しました。" (Saved draft at 2:03:30 am).

右上を「テキスト」をクリックすると、投稿する文章の内容が呪文入り（HTML 形式）で表示されます。（今回は、簡単な文章なので、表示に差はほとんどみられません。）

画像を挿入したい位置を探します

今回は、2行目と3行目の間に画像を挿入するとします。

挿入したい位置次の画像のような場所になります。


メディアを追加

ビジュアル **テキスト**

b i link b-quote del ins img ul ol li code more

タグを閉じる

「こばなしを一席。
むかしむかし浦島太郎は、助けた亀に連れられました。
竜宮城へむかいました。
めでたしめでたし。」



この位置に以下の呪文をコピーアンドペーストします。

呪文：

``

b i link b-quote del ins img ul ol li code more

タグを閉じる

「こばなしを一席。
むかしむかし浦島太郎は、助けた亀に連れられました。
``
竜宮城へむかいました。
めでたしめでたし。」

コピーアンドペーストできたら、次に先ほどコピーしたの画像URL『http://Hiroshima-ota.kir.jp/~』を『ここをURLで置き換える』と書いてるところと置き換えます。

```
タグを開じる
```

「こばなしを一席。

むかしむかし浦島太郎は、助けた亀に連れられました。

```

```

竜宮城へむかいました。

めでたしめでたし。」

ここまでできたら、「ビジュアル」をクリックします。
すると、自由記載欄の投稿の任意の場所に画像が挿入できたことが確認できます。



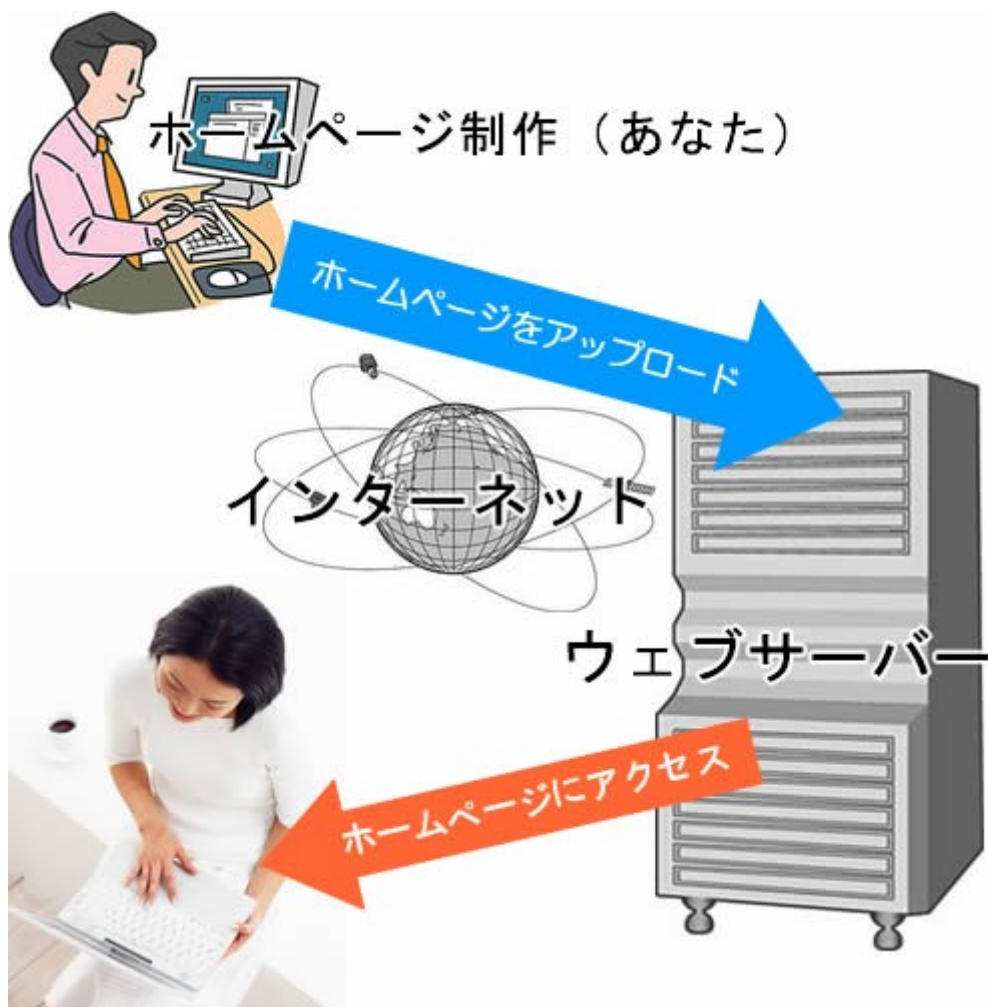
お疲れ様でした。

ちなみに、

この方法を知っておけば、任意の場所にいくつでも画像を挿入できるのでコンテンツの作成が便利です。

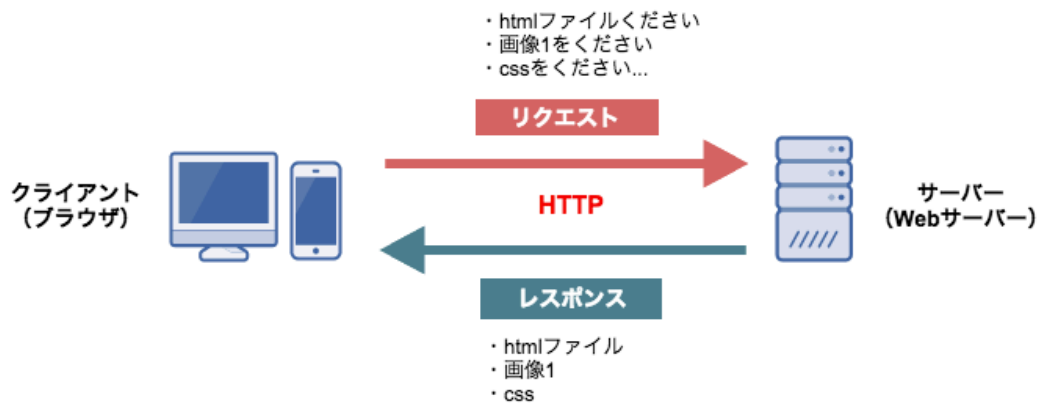
技術的な補足：

web サイトは、大まかに以下のような技術で表示されます。



表示したい画像は、すべてウェブサーバーにおく（アップロードする）必要があります。

また、画像の表示に呪文(HTML・URL)が必要なのは、インターネットエクスプローラやサファリ、グーグルクローム、ファイヤーフォックスといったブラウザ上で画像をどこにどんな風に表示させたいかを、パソコンがわかるよう指示するためです。



パソコンは人間の言葉が理解できないので、パソコンにわかる呪文（HTML）で指示を出してやる必要があるというわけで、つまり広い意味で、プログラミングの一種です。

今回 `html` タグのひとつである、``タグ登場しました。

これは、画像の表示に関するタグで、`src` は情報源となる `URL` を指定するためのプロパティでした。